年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　国語　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍　新編現代の国語 ）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　こそそめスープ 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート	○			［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめてい	○	○	○	5
	単元　ルリボシカミキリの青 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 自分の興味関心のあることについてスピーチする。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート	○	○		［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］粘り強く筆者の主張の要旨を捉え，今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し，考えをまとめ，伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	単元　未来をつくる想像力 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート			○	［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 ［主］粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し，学習課題に沿って実際の生活を見直し，情報社会における自己の在り方について考えを深めようとしている。	○	○	○	6

	単元　水の東西 ……文章の要旨をまとめよう 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 評論の書かれ方を理解し，読み方を知る。 要旨をまとめ，文章の要点を把握する。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート		○		［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め，今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしてい	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	1単元　スキマが育む都市の緑と生命のつながり 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み，提示された新しい視点について理解する。 評論の書かれ方を理解し，読み方を知る。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート	○			［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 ［主］粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し，学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。		○		7
	単元　無彩の色 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の主張する灰色についての日本文化の特色を，伝統色を確認しながら理解する。 評論の書かれ方を理解し，読み方を知る。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート				［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し，学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め，発表しようとしている。				8
	定期考査						○	○		1
	単元　動きを引き出す言葉の力 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の体験談から，仕事に対する思いを読み取る。 評論の書かれ方を理解し，読み方を知る。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート			○	［知技］ ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について 理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 ［主］ ・進んで「動きを引き出す言葉」についての筆者の主張を理解し、読書を通してさまざまな職種に関心を持ち、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8

	単元　憧れの職業について調べ，整理してまとめよう 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 調べたことを整理して，考えたことを分かりやすくまとめる。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート Surface		○		［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］「書くこと」において，自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫している。 ［主］進んで「憧れの職業」の客観的情報や体験談を集め，自分の考えが効果的に伝わるようにまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	単元　美しさの発見 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み，その展開を論理的に捉え，筆者の価値観を理解する。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート Surface				［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 ［主］粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら，筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し，今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め，話し合おうとしている。	○	○	○	7
	単元　真の自立とは 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 「自立」の在り方について考察する文章を読み，自分の考えを持ち，視野を広げる。 ・教材 教科書 国語表現ナビ ノート ワークシート Surface				［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 ［主］積極的に現代の状況に関心を持ち，筆者が述べる内容を理解し，自分の考えを深め，今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで，自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍　新編言語文化 ）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　さくらさくらさくら 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 引用歌や体験談に注意しながら，日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○		［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 ［思判表］	○	○	○	4
	単元　児のそら寝 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて理解し，説話のおもしろさを読み取る。 ・教材 教科書 古典文法ワーク ノート ワークシート ipad	○	○		［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	単元　小説　羅生門 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 極限状態にある登場人物の心情の変化を，場面の展開に即して読み取り，主題を考える。 ・教材 教科書 ノート ワークシート ipad		○		［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを	○	○	○	8
	単元　古文　絵仏師良秀 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文語の活用について理解し，叙述を基に人物像を読み取る。 ・教材 教科書 古典文法ワーク ノート ワークシート ipad		○		［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし，語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	単元　枕草子「うつくしきもの」 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 ・作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深める。 ・教材 教科書 漢字ボックス 反復ノート ノート ワークシート	○			［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえ		○		6
	単元　小説　とんかつ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 ・会話や行動の描写に着目して，登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・教材 教科書 漢字ボックス 反復ノート ノート ワークシート				［知技］ ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。				8
	定期考査						○	○		1

	単元　伊勢物語 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 ・作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク 古文単語帳 ノート ワークシート		○		［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえ	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
	単元　訓読の基本 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。	・指導事項 ・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り，漢字の読みと意味の関係について理解する。				［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。				7
	単元　故事成語 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 知っている「故事成語」を答えさせ，その背景となる「寓話」を国語便覧等を使ってグループ等で調べさせる。 故事成語の背景に「寓話・逸話」があることを確認する。 ・漢和辞典の使い方を知り，漢字の読みと意味の関係について理解する。				［知技］ ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴				7
	定期考査						○			1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 地理総合改訂版　世界に学び地域へつなぐ（山川出版社）　）
教科　地理歴史　　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】　世界および日本の諸地域を理解するのに必要な基礎的知識・技能を修得する。
【思考力、判断力、表現力等】　修得した知識・技能を活用して、諸事象を多角的に考察する。
【学びに向かう力、人間性等】　作業やグループ学習などに積極的に参加する。他国や他地域の事情を理解する。
科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自然システムや社会・経済システムを理解する。 ・地理に関する情報を収集し、読み取る技能を修得する。	・地理に関わる諸事情の特色や関連について、多面的・多角的に考察する。 ・考察したことを効果的に説明したり議論したりする。	・自然システムや社会・経済システムについてや、地球的・地域的課題について意欲的に追求する態度を養う。 ・他国や他国の文化を尊重することを自覚する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球面上の世界 ・位置の基準～地球上の緯度・軽度 ・時間の基準～時差と標準時 世界からみた日本の位置と領域 ・視点を変えてみた日本の位置	・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示す。 ・時差について考え、計算できるようにする。 ・図法については端末を活用して調べる。	【知識・技能】 緯度経度の見方や時差の計算手順を修得する。 さまざまな図法の特徴を理解する。 【思考・判断・表現】 緯度経度や時差が生活に与える影響や、さまざまな図法の特徴に合わせた利用法を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 時差の計算に積極的に取り組む。	○	○	○	8
	・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題	・世界の国家や国境について理解する。 ・日本の領域についての特徴を理解する。	【知識・技能】 国境の形態や日本の領域の特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 世界の国境をめぐる問題や日本が関わる領土問題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国境・領土問題を客観的に考察する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	地形と生活文化 ・変動帯とプレート 日本の自然環境と防災 ・世界からみた日本の地形の特色	・プレートテクトニクスについて理解する。 ・世界の陸地が、安定陸塊・古期造山帯・新期造山帯からなることを理解し、それぞれの特徴を知る。	【知識・技能】 それぞれの大地形を比較する。 【思考・判断・表現】 日本の自然災害について考察し、防災についても考える機会とする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ここで考察したことを、身近な問題として積極的にとらえる。	○	○	○	7
	地形と生活文化 ・河川がつくる地形と生活 ・海岸の地形と生活	・さまざまな小地形の特徴を理解する。 ・地形図から情報を読み取る技術を養う。	【知識・技能】 小地形の特徴を、地形図から読み取る。 【思考・判断・表現】 それぞれの地形と人々の生活との関わりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形図の読み取りや新旧地形図の比較など、地理情報を積極的に活用する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	気候と生活文化 ・大気の循環 ・気候の地域性 ・ケッペンの気候区分	・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の分布を知る。 ・ケッペンの気候区分方法について理解する。	【知識・技能】 気候表・雨温図・ハイサーグラフなどから気候の特徴を読み取る。 【思考・判断・表現】 気候と人々の生活との関わりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフや統計を積極的に活用する。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	・熱帯の自然環境と生活 ・乾燥帯の自然環境と生活 ・温帯の自然環境と生活 ・亜寒帯・寒帯の自然環境と生活	・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯について、それぞれの特徴を理解する。	【知識・技能】 それぞれの気候の特徴を、植生・土壌・農業などで比較する。 【思考・判断・表現】 気候と人々の生活（衣食住）との関わりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフや統計を積極的に活用する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	地球環境問題 ・環境問題と持続可能な社会 ・国境を越える汚染 ・森林減少・砂漠化とその対策 ・気候変動とその対策	・地球規模で問題になっている環境問題について、その種類と原因について理解する。	【知識・技能】 熱帯林の破壊と地球温暖化について、その特徴と原因を詳しく理解する。 【思考・判断・表現】 問題が周囲に及ぼす影響まで考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地で異なる環境問題があることを理解する。	○	○	○	7
	人口・食料問題 ・人口と人口問題 ・世界各地の人口問題 ・二つの食料問題	・世界の人口分布や人口増減の傾向とその原因について理解する。	【知識・技能】 先進国と発展途上国の人口問題について、その特徴と原因を詳しく理解する。 【思考・判断・表現】 問題が食糧問題などへの影響まで考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 先進国と発展途上国で異なる環境問題があることを理解する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　公民　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（　数研出版『高等学校　公共～これからの社会について考える～』　）

教科　公民　の目標：

【知識及び技能】　現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】　現実社会の諸課題の解決に向けて，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度，多面的・多角的な考察や深い理解を通じた人間としての在り方生き方についての自覚，国民主権を担う公民として，自国を愛し，平和と繁栄を図ることや，各国の主権の尊重，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	巻頭特集 公共的な空間をつくる私たち 1　大人ってどんな人？ 2　お互いを理解し尊重するために 3　誰もが生きやすい社会へ	・指導事項 ①「大人」の自分を想像してみよう ②「哲学対話」をしてみよう ③青年期心理学，思想・宗教 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・先哲の思想や伝統，文化，宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとれる。	○	○	○	6
	第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第1節　西洋近現代の思想 第2節　現代の諸課題と倫理	・指導事項 ①科学的・合理的な考え方 ②個人と社会とのかかわり ③地球環境，資源をめぐる問題 ④生命，情報をめぐる問題 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第2章 公共的な空間における基本原理 第1節　民主社会の基本原理 第2節　日本社会の基本原理	・指導事項 ①基本的人権，権力分立，法の支配 ②日本国憲法と基本原理，日本の安全保障 ③平等権，自由権，社会権，人権の広がり ④国会，内閣のしくみと役割 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方に	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
２学期	第3章 ルールをつくり守る私たち 第1節　法と契約 第2節　司法参加の意義	・指導事項 ①法・規範の意義と役割 ②経済社会における契約と消費者の権利 ③司法制度と日本の裁判制度 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第4章 政治に参加する私たち 第1節　政治参加と民主政治の課題 第2節　国際政治の動向 第3節　国際政治の課題と日本の役割	・指導事項 ①選挙，政党の役割 ②国際社会と国際法 ③核廃絶の難しさ，国際連合の組織と課題 ④人間の安全保障と貧困の解消 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
３学期	第5章 経済活動を行う私たち 第1節　経済のしくみと産業の変化 第2節　市場経済のしくみと金融 第3節　財政と社会保障 第4節　国際経済の動向と課題	・指導事項 ①戦後日本経済のあゆみ ②需要供給曲線の移動の理解 ③国民所得と経済成長，金融の役割 ④財政のしくみ，公害対策と環境保全 ⑤少子高齢社会における社会保障 ⑥円高・円安，グローバル時代の国際経済 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・課題探究の観点 ・課題探究の手引き	・指導事項 ①持続可能な地域の創造 ②よりよい国家・社会の構築 ③平和で安定した国際社会の形成 ・教材：教科書 ・一人１台端末にてプリント配布	【知識及び技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。		○	○	3
							合計 70

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　数学　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　１学年　１組～　６組
教科担当者：
使用教科書：（ 数研出版　新編数学Ⅰ ）
教科　数学　の目標：　基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、活用する態度を育てる。
【知識及び技能】概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したりし、表現・処理する技能を身に付け
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考察する力、他の事象との関係を認識し考察する力、数学的な表現を用いて事象を的確に表現する
【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、粘り強く考え判断しようとする態度、解決の過程を振り返って考察を深める態度を養
科目　数学Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	第１章　数と式　第１節　式の計算 【知識及び技能】 式を、目的に応じて１つの文字に着目くくして整理したり、１つの文字に置き換えたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 式を既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的にとらえたり、目的に応じて適切に変形したりする力を養う。	第１章　数と式 第１節　式の計算 １．多項式の加法と減法 ２．多項式の乗法 ３．因数分解	【知識・技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	7
	第２節　実数　第３節　１次不等式 【知識及び技能】 実数が四則演算に関して閉じていること、直線上の点と１対１に対応していることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な無理数の四則演算ができるようにする。 【主体的に学習に取り．組む態度等】 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめる。	第２節　実数 ４．実数 ５．根号を含む式の計算		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	c第３節　１次不等式 第２章　集合と命題 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象に関連した課題の解決に１次不等式を活用する力を培う。 【主体的に学習に取り．組む態度等】 不等式の性質をもとに１次不等式を解く方法を考察する。	第３節　１次不等式 ６．不等式の性質 ７．１次不等式 ８．絶対値を含む方程式・不等式 第２章　集合と命題 １．命題と条件 ２．命題と証明		○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
２学期	第３章　２次関数 第１節　２次関数とグラフ 第２節　２次関数の値の変化 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 【主体的に学習に取り．組む態度等】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	第３章　２次関数 １．関数とグラフ ２．２次関数のグラフ ３．２次関数の最大・最小 ４．２次関数の決定 ５．２次方程式 ６．２次関数のグラフとx軸の位置関係	【知識・技能】 関数・座標平面について理解している。放物線の形や軸、頂点について理解している。グラフの対称移動、平行移動について理解している。2次関数が最大値または最小値を持つことを理解している。グラフとx軸の共有点の座標が求められる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。2次関数の値の変化がグラフから考察できる。2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を使うことができる。2次方程式が重解や実数解を持つための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフで、軸、頂点の式を考察しようとする。グラフの平行移動、対称移動の一般公式を積極的に活用しようとする。 2次関数の最大・最少問題を、図を描いて考察しようとする。1次関数のグラフと1次関数の不等式の関係から、2次不等式の場合を考えようとする。 【知識・技能】 直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値を求められる。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	第３節　２次方程式と２次不等式 第４章　図形と計量 第１節　三角比 【知識及び技能】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 【主体的に学習に取り．組む態度等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	７．２次不等式 第４章　図形と計量 １．三角比 ２．三角比の相互関係 ３．三角比の拡張		○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
３学期	第２節　三角形への応用 第５章　データの分析 【知識及び技能】 正弦・余弦定理を理解し、適切な辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 【主体的に学習に取り．組む態度等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行う。	４．正弦定理 ５．余弦定理 ６．正弦定理と余弦定理の応用 ７．三角形の面積 第５章　データの分析 １．データの整理 ２．データの代表値 ３．データの散らばりと四分位数 ４．分散と標準偏差 ５．２つの変量の間の関係 ６．仮説検定の考え方	【知識・技能】 正弦定理を利用して外接円の半径辺の長さや角度を求められる。 余弦定理を利用して三角形の辺の長さ角の大きさを求められる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の外接円、内接角と中心角の関係などから正弦定理を導こうとする。三平方の定理をもとに、余弦定理を導こうとする。三角形の解法について興味を示し、様々な角度を求めようとする。 【知識・技能】 平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、求めることができる。相関係数の定義とその意味を理解し、定義に従って求めることができる。 【思考・判断・表現】 範囲の定義やその意味を理解し、データの散らばりを比較することができる。散布図を作成し、２つの変量の間の相関考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　数学　科目　数学A

教　科：　数学　　科　目：　数学A　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 数研出版　新編　数学A　）
教科　数学　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】　数え上げの原則や、順列・組み合わせ及びその総数の求め方について理解し、活用する。
【思考力、判断力、表現力等】　身近な事象を基にして、不確定な事象の起こる程度を数を用いて表現することについての理解を深める。
【主体的に学習に取り．組む態度等】　数学の良さを認識し活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。
科目　数学A　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り．組む態度等】
場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈した数学的に表現・処理したりする技能を身に着けるようにする。	不確実な事象に、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	主	配当時数
1学期	第１章　場合の数と確率 第１節　場合の数 ２．場合の数 ３．順列	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	４．組み合わせ	順列と組み合わせの違いについて理解し、条件が付く組み合わせを、味方絵お変えたり別なものに対応させたりして処理できるようにする。		○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	４．組み合わせ	順列と組み合わせの違いについて理解し、条件が付く組み合わせを、味方絵お変えたり別なものに対応させたりして処理できるようにする。		○	○	○	5
	第２節　確率 ５．事象と確率 ６．確率の基本性質	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。		○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2学期	７．独立な試行と確率 ８．条件付き確率 ９．期待値	複雑な試行の確率や期待値についての理解を深め、それらの滋養を考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	第２章　図形の性質 第１節　平面図形 １．三角形の辺の比 ２．三角形の外心・内心・重心 ３．チェバの定理・メネラウスの定理 ４．円に内接する四角形	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。		○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3学期	５．円と直線 ６．２つの円 第３章　数学と人間の活動 １．約数と倍数 ２．素数と素因数分解 ３．最大公約数・最小公倍数 ４．整数の割り算 ５．ユークリッドの互除法	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。	【知識・技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の活動における数学のよさを認識し，様々な場面で数学を活用しようとしたり，粘り強く	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　理科　科目　化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　新編　化学基礎　数研出版　）
教科　理科　の目標：
【知　識　及　び　技　能】　科学が解明してきたことを理解し、その方法や意味を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】　論理的・科学的思考の仕方を修得すると共に人に伝える能力も高める。
【学びに向かう力、人間性等】　本質を探究していく体験から主体的に学ぶ姿勢を育む。
科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質の成り立ちやその変化について、基本的事項を学ぶ。観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	知識、技能を活用して、身の回りの科学的事象をどのように評価、理解できるかを考える。観察・実験の実施とレポート作成などを通して科学的に探究し、表現する力を養う。	主体的な学習を通してみずから課題を発見し、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1編　物質の構成と化学結合 第1章　物質の構成 ・物質が原子、イオン、分子から構成されることを理解する。 ・三態変化を熱運動と関連づけて説明できる。 第2章　物質の構成粒子 ・原子の電子配置からイオンの生成を理解している。 ・周期表について説明できる。	物質の分離と精製 物質と元素 物質の三態と熱運動 原子の構造 イオンの生成 周期表	【知識・技能】 ・混合物の分離法について代表的な方法を理解し、操作法を説明できる。 ・熱運動と物質の三態との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の電子配置とイオンの生成する仕組みを表現できる。 ・周期表と原子の電子配置についての関係を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
	第3章　粒子の結合 ・イオン結合、共有結合、金属結合の違いを電子配置や電気陰性度から説明できる。 ・具体的な物質について、それらを構成する粒子の化学結合と結晶について理解する。	イオン結合 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質	【知識・技能】 ・イオン結合、共有結合、金属結合のしくみについて理解している。 ・それぞれの結合と結晶について、正確に理解し、区別できる。 【思考・判断・表現】 ・化学結合のしくみについて、電気陰性度との関係から説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
2学期	2編　物質の変化 第1章　物質量と化学反応式 ・物質量の定義を理解し、質量や体積との間の換算ができるようになる。 ・化学反応式の係数の意味を理解し、その量的関係を計算できる。 ・モル濃度の定義を理解し、モル濃度の計算ができる。	原子量と分子量・式量 物質量と粒子数、質量、気体の体積 溶液の濃度 化学反応式	【知識・技能】 ・原子量、分子量、式量について理解し、それらの計算ができる。 ・モル濃度と質量パーセント濃度との換算ができる。 ・化学反応式の係数について正確に当てはめることができる。 【思考・判断・表現】 ・物質量について理解し、質量や体積との間の換算ができる。 ・化学反応式とその量的な関係について、物質量を用いて計算できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	第2章　酸と塩基の反応 ・酸と塩基の定義を理解し、pHの意味を理解する。 ・中和反応のしくみを理解し、その量的な関係を計算できる。 ・中和滴定の実験を正しい方法で行うことができる。	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定	【知識・技能】 ・酸と塩基のモル濃度をpHで表すことができる。 ・中和滴定の実験を通じて、実験器具の正しい使い方を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・酸と塩基の定義を理解し、その強弱や価数について表現できる。 ・中和反応を理解し、それを化学反応式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
3学期	第3章　酸化還元反応 ・酸化と還元の定義を電子の授受や酸化数の増減から理解する。 ・金属の反応性の違いを金属のイオン化傾向から理解する。 ・酸化還元反応と金属の製錬の関係を理解する。	酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身のまわりの酸化還元反応	【知識・技能】 ・代表的な酸化剤と還元剤の反応を理解し、電子の授受で説明できる。 ・金属のイオン化傾向について反応性の違いを理解し、電池のしくみを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・酸化と還元の定義を電子の授受や酸化数の増減で説明できる。 ・金属の製錬と酸化還元反応を関連づけてそれらを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　　1 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　　なし　　）
教科　保健体育　　の目標：心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわ
【知　識　及　び　技　能】　各種の運動の特性の応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を
科目　体育　　の目標：生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・インサイドキック、トウキックなど個人技を身に付けさせる。 ・入水前の準備運動等の徹底。 ・クロール・平泳ぎの基本的な泳法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ゴール型のボールゲームの特性を理解する。 ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う。 ・自分や仲間の技を見て、改善点や安全上の注意点を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と協力しながら積極的に取り組ませる。 ・積極的に用具の整備や片づけを行わせる。	・指導項目 からだつくり運動 サッカー 水泳 スポーツテスト ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ボール操作や基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	37
2学期	【知識及び技能】 ・正しい泳法で決められた距離を完泳する。 ・ラケット操作に慣れ、クリア、ドロップ、スマッシュ等ができる。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・マット運動に必要な柔軟性やバランス、力の使い方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット型のボールゲームの特性を理解する。 ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う。 ・自分や仲間の技を見て、改善点や安全上の注意点を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と協力しながら積極的に取り組ませる。	・指導事項 水泳 バドミントン マット運動 柔道 ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ラケット操作や基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる	○	○	○	38
3学期	【知識及び技能】 ・誰でも手軽に行える体力づくりの運動として、日常生活に活かせる方法を考えさせる。 ・持久走の特性や目的、体力向上との関係について理解させる。 ・効率よく走るためのペース配分や呼吸法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・記録や走行中の状態を踏まえ、よりよく走るための方法を考え、工夫させる。 ・自己の目標達成に向けて、走る距離や速度、呼吸の仕方などを選択・調整できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の体力や健康状態に応じて、粘り強く持久走に取り組ませる。 ・自己の目標達成に向けて、積極的に練習や記	・指導事項 体育理論 持久走 ・教材 ワークシート 学習カード 記録カード 小テスト ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい走り方を身に付け、決められた距離を完走できる。 ・ペース配分や呼吸法、安全な運動方法について理解している。 ・自己の体力や目標に応じたペースで継続して走ることができる。 ・ワークシートに正しく書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	30 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　　1 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　　なし　　）
教科　保健体育　　の目標：　心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわ
【 知 識 及 び 技 能 】　各種の運動の特性の応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を
科目　体育　　の目標：　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	【知識及び技能】 ・補強運動理解やからだつくり運動を理解し正しく表現することができる。 ・バレーボールの基本的なルールやパス、サーブ、レシーブ、スパイクなどを理解し、安全に正しく行うことができる。 ・クロール・平泳ぎの基本的な泳法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット型のボールゲームの特性を理解する。 ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う。 ・自分や仲間の技を見て、改善点や安全上の注意点を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と協力しながら積極的に取り組ませる。 ・積極的に用具の整備や片づけを行わせる。	・指導項目 からだつくり運動 バレーボール 水泳 スポーツテスト ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ボール操作や基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	37
２学期	【知識及び技能】 ・正しい泳法で決められた距離を完泳する。 ・ラケット操作に慣れ、クリア、ドロップ、スマッシュ等ができる。 ・ダンスの基本的な動きやリズムの特徴を理解し、音楽に合わせて表現することができる。 ・マット運動に必要な柔軟性やバランス、力の使い方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット型、ゴール型のボールゲームの特性を理解する ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う ・自分や仲間の技を見て、改善点や安全上の注意点を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 水泳 バドミントン マット運動 ダンス ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる ・クリアー、スマッシュ、ヘアピンをグループごとに学習し、基本打を身に付けることができる。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ダンスの基本的な動きやリズムの特徴を理解し、音楽に合わせて表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる。 ・仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる	○	○	○	38
３学期	【知識及び技能】 ・誰でも手軽に行える体力づくりの運動として、日常生活に活かせる方法を考えさせる。 ・持久走の特性や目的、体力向上との関係について理解させる。 ・効率よく走るためのペース配分や呼吸法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・記録や走行中の状態を踏まえ、よりよく走るための方法を考え、工夫させる。 ・自己の目標達成に向けて、走る距離や速度、呼吸の仕方などを選択・調整できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の体力や健康状態に応じて、粘り強く持久走に取り組ませる。 ・自己の目標達成に向けて、積極的に練習や記	・指導事項 体育理論 持久走 ・教材 ワークシート 学習カード 記録カード 小テスト ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい走り方を身に付け、決められた距離を完走できる。 ・ペース配分や呼吸法、安全な運動方法について理解している。 ・自己の体力や目標に応じたペースで継続して走ることができる。 ・ワークシートに正しく書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	30 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科 保健体育　　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位
対象学年組：第　1　学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 大修館　　）
教科　保健体育　　の目標：　心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通し
【 知 識 及 び 技 能 】　課題の発見と必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している
【思考力、判断力、表現力等】　自分で課題を見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析し、自らまとめ表現している
【学びに向かう力、人間性等】　主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとしている
科目　保健　　の目標：　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康について自分の考えをまとめグループ協議で発言する。 ・自らの生活習慣を見直し改善しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に考え、言葉を通して他者に伝えようとする態度を養う。	・指導項目 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康の姿 生活習慣の予防とその回復 がんの原因とその予防 がんの治療と回復 運動と健康 ・教材 スライド提示 ノート ワークシート ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 　ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 自分の考えをグループワークで他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる。 日本の健康課題と社会状況との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	13
2学期	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・生活習慣と健康の関係性について正しく理解する。 ・食事や飲酒、喫煙が与える健康影響について正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らの生活習慣を見直し、獲得した知識から生活習慣を改善策を考え表現する。 ・精神疾患の特徴、発症、回復について思考・判断し、自らの考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に考え、言葉を通して他者に伝えようとする態度を養う。	・指導事項 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 ・教材 ノート、ワークシート ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 ・自らの生活習慣を見直し、獲得した知識から生活習慣を改善策を考え表現することができる。 ・精神疾患の特徴、発症、回復についての知識や技能を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・自身のの健康課題と生活習慣との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	14
3学期	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・現代の感染症、性感染症やエイズについて正しく理解する。 ・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】　。 感染症と環境の関係や感染症の発生、流行の現状について思考・判断し、それを表現することができる。 ・健康保持増進に向けて正しい生活を判断し行動選択する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に考え、言葉を通して他者に伝えようとする態度を養う。	・指導事項 現代の感染症 感染症の予防 性感染症とエイズ 健康に関する意思決定・行動選択 ・教材 ノート、ワークシート ・一人１台端末の活用 パワーポイントを用いて、課題に応じたグループを作り、発表活動を行う　端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 ・性感染症やエイズの課題や予防のための取り組みについて思考・判断し、それを表現することができる。 ・精神疾患の特徴、発症、回復についての知識や技能を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・日本の健康課題と社会状況との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	8 合計 35

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　芸術　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 教育芸術社　MOUSA① ）

教科　芸術　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	時配数当
1学期	A 曲にふさわしい発声で歌おう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解を深め、歌唱に対する意識をもち、発声の基本や視唱（読譜）の力を育みながら、楽曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	曲にふさわしい発声と言葉の発音と身体の使い方などに留意した表現の技能 「校歌」 「O Waly Waly」 「Ave Maria」	○			○	A【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉（歌詞）の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。	○	○	10
	B カンツォーネやイタリア歌曲に親しもう 【知識及び技能】 イタリア語の発音の特徴をとらえて、リズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解し、歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌	・曲にふさわしい発声と言葉の発音などの技能 ・楽曲の表現効果の聴き取り 「'O sole mio」 「Caro mio ben」	○			○	B【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。	○	○	7
	C 身近なものを使ってリズムを演奏しよう 【知識及び技能】 リズムを正確に捉えるとともに、曲想と音色や奏法との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想に合った音色や奏法、パフォーマンスの技能を身に付け、表現を工夫す	コップ等を用いたリズム表現における音色や奏法の表現の工夫 「Clap,Tap with CUPS!」 分割されたリズムを打つ練習 リズムを正確に打つ練習 ソルフェージュ④⑱		○	○		C【知識及び技能】 曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表			3
2学期	D 日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう 【知識及び技能】 ドイツ語の発音の特徴（子音、ウムラウトなど）、言葉のリズムと旋律との関わりを理解し、表現の工夫をして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を	・曲にふさわしい発声と言葉の発音などの技能 ・自己のイメージをもった歌唱表現の創意工夫 「Heidenröslein」 「Sah ein Knab ein Röslein stehn」	○			○	D【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	10
	E 表現を工夫してギターを演奏しよう 【知識及び技能】 ギターに興味をもち、音階や和音（コード、ダイヤグラム）の学習から、自ら弾いて表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ	・ギターの奏法を身に付ける ・自己のイメージをもった器楽表現の創意工夫 「木星」 「日曜日よりの使者」		○		○	E【知識及び技能】 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	10
	F 様々な形態の歌唱を楽しもう１ 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、	・視唱や視奏、読譜、記譜の練習 ・音高やリズムなどの楽譜からの正しい読み取り ソルフェージュ⑤～⑨ 「この道」 「荒野の果てに」	○			○	F【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	○	○	10
3学期	G 様々な形態の歌唱を楽しもう２ 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】	・視唱や視奏、読譜、記譜の練習 ・音高やリズムなどの楽譜からの正しい読み取り ソルフェージュ⑤～⑨ 「Do-Re-Mi」 「美女と野獣」	○			○	F ミュージカル 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受し	○	○	8
	H オペラに親しみアリアに挑戦しよう 【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクス	・物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解してのオペラ鑑賞 ・舞台芸術としてのオペラの特徴の知覚 『カルメン』		○	○	○	H【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対す	○	○	12 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 日本文教出版　高校生の美術Ⅰ　）
教科　芸術　の目標：
【知識及び技能】芸術の各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり。芸術のよさや美しさを味わうことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに豊かな情操を培う。
科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	主題を生成し、発想や構想を練ったり、美術に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	配当時数
			彫・絵	デ	映					
1学期	A 単元　鉛筆デッサン 【知識及び技能】鉛筆や消しゴムなど描画材の特性を生かして、創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　自他の作品の造形的なよさや美しさを感じ、見方や感じ方を深める。	・参考作品などの鑑賞を通して、鉛筆デッサンの魅力に気が付かせる ・形体や構図の効果を考え、スケッチをする。 ・消しゴムや鉛筆など描画材の使い方を理解し、質感や立体感などを表現する。	○			○	【知識及び技能】鉛筆や消しゴムなど描画材の特性を生かして、創造的に表現できている 【思考力、判断力、表現力等】　自他の作品の造形的なよさや美しさを感じ、見方や感じ方を深めている 【学びに向かう力、人間性等】モチーフの表	○	○	10
	A 単元　写真を色面分割してデザインする 【知識及び技能】明度の変化を感じ取り、それにより立体感が表現されることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】　写	・参考作品などから色面分割された作品の立体感が表現されていることを理解する ・明度の違いを探して、境界線を引く。 ・明度が高いところから着色していく ・自他の作品の鑑賞	○			○	【知識及び技能】明度の変化を感じ取り、それにより立体感が表現されることを理解できている 【思考力、判断力、表現力等】　写真を色面分割して表現し、アクリル絵の具などの描画材料を効果的に使ってデザインできる	○	○	18
2学期	A 単元　風景画 【知識及び技能】風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】　身	・構図を決める為にラフスケッチを描く。 ・鉛筆を分けながら使い下書きをする。 ・明度や彩度、色彩を理解しながら、生かして表現していく。 ・明度が高いところから着色していく	○			○	【知識及び技能】風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。（作品・ラフスケッチなどで評価） 【思考力、判断力、表現力等】　実際に見た風景や場所から、形や色彩、構図などの効果	○	○	20
	A 単元　塑造で表す 【知識及び技能】意図に応じて粘土の特性を生かして、主題を追求して創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　人物の心情や個性を捉え、人物の表情	・参考作品などから人物の表情などから生命観や存在を感じ取らせる ・対象の印象や個性を捉え、主題を生成し、スケッチをする ・スケッチをもとに、観察を深め粘土をつける ・主題を基に、用具を使い仕上げ	○			○	【知識及び技能】意図に応じて粘土の特性を生かして、主題を追求して創造的に表現できている 【思考力、判断力、表現力等】　人物の心情や個性を捉え、人物の表情や動きなどを工夫して表現意図に応じて形や量感などについて考えて表している	○	○	8
3学期	A 単元　塑造で表す 【知識及び技能】意図に応じて粘土の特性を生かして、主題を追求して創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　人物の心情や個性を捉え、人物の表情	・参考作品などから人物の表情などから生命観や存在を感じ取らせる ・対象の印象や個性を捉え、主題を生成し、スケッチをする ・スケッチをもとに、観察を深め粘土をつける ・主題を基に、用具を使い仕上げ	○			○	【知識及び技能】意図に応じて粘土の特性を生かして、主題を追求して創造的に表現できている 【思考力、判断力、表現力等】　人物の心情や個性を捉え、人物の表情や動きなどを工夫して表現意図に応じて形や量感などについて考えて表している	○	○	14 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科　芸術　科目　書道Ⅰ

教 科:　芸術　　科 目:　書道Ⅰ　　単位数:　2　単位　2
対象学年組:第　1 学年　1 組～　6 組
教科担当者:
使用教科書:（　光村図書　書Ⅰ　　）
教科　芸術　　の目標:
【知識及び技能】　書道の用具用材の扱い方や名称を知り、各書体の特徴を学び、臨書を通じた運筆技術を身につける。臨書、鑑賞、
【思考力、判断力、表現力等】　書道の各書体を考察し、その時代の変遷を知ったうえで違いを判断しながら臨書という学習を通じて古典を的確に、
【学びに向かう力、人間性等】　一つの臨書課題に対して、特徴を捉えようとする努力をし、情熱を持って書の表現をしようとする姿勢・態度を身に付
科目　書道Ⅰ　　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①書道で使う道具(筆・墨・硯・紙)などの各専門名称を知る。 ②文字の成り立ちの歴史を知り、各書体の名称と変遷を知りその違いを理解している。 ③基本点画の名称と臨書の課題提出方法を理解している。	①書道で使う道具(筆・墨・硯・紙)の作られ方を知りその用途の可能性を考えられる。 ②文字の成り立ちの歴史を知り、各書体の違いを判断しその差異を識別できる。 ③基本点画の名称と臨書の課題提出方法を理解し、課題を表現し作成できる。	①書道で使う道具(筆・墨・硯・紙)に興味を持ち、積極的に教科書の資料などを調べられる。 ②文字の成り立ちの歴史を知り、得た知識を使って課題内容のやり取りをし専門用語を用いて授業に参加できる。 ③反復練習を通じて臨書の課題に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	時配数当
1学期	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習　唐の四大家に学ぶ楷書の基本 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意		○		○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	10
	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意		○		○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	10
	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意		○		○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	10
	仮名の書漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意			○	○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	10
2学期	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意			○	○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする		○	10
	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意			○	○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	10
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】 反復の練習の中で集中力を養う、物を	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意	○			○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする		○	10
3学期	漢字の書 【知識及び技能】解説と臨書を通じた半紙練習 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と考察、表現 【学びに向かう力、人間性等】 反復の練習の中で集中力を養う、物を	・教科書各単元の内容を解説し課題内容を説明する ・書道道具一式(道具の準備をしながら確、不足分は確認していく) ・補助資料プリントを必要に応じて用意	○			○	①毎時間の課題内容を把握し、古典の特徴を掴んで表現できたか。 ②鑑賞を通じて考察し、自分の言葉で感想をフィードバック用紙に記入することができたか ③自分の書いた字を自己分析し集中してさらに高めようという向上心を出せたか。 以上の三点を基準にして各単元毎の評価をする	○	○	合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用）教科　外国語（英語）　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：外国語（英語）　科　目：英語コミュニケーションⅠ　単位数：3　単位
対象学年組：第　1 学年　1 組 ～ 6 組
教科担当者：
使用教科書：（東京書籍　Power On English Communication I Revised （CI 002-902））
教科　外国語（英語）　の目標：

【知識及び技能】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションを図るための知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】 外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションを図れる思考力、判断力、表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語によるコミュニケーションを聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的・積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。

科目　英語コミュニケーションⅠ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を知っている。【技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に着けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に着けようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	やり取り	発話	書	評価規準	知	思	配当時数
1学期	Lesson 1 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L1 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムについてのALTの話 また、他に ・プレレッスンのページ ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	7
	Lesson 2 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L2 光る生き物が光る理由やその光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○	1
	Lesson 3 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L3 米国の大リーグで活躍する吉田正尚選手についての新聞記事 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I Revised WORKBOOK	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	7
	Lesson 4 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L4 ミニチュア写真家、見立て作家である田中達也さんの紹介とインタビューの雑誌記事 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○	1
2学期	Lesson 5 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L5 バナナペーパーがザンビアの村の人々の暮らしに与えた変化と、日本の伝統技術の貢献についてのALTによる講義 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	9
	Lesson 6 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L6 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○	1
	Lesson 7 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L7 プラスチックごみによる海洋汚染についての論説文 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I Revised WORKBOOK	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	9
	Lesson 8	L8 フィッシュ・アンド・チップスの	○	○	○	○	○	【知識及び技能】	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○	1
3学期	Lesson 9 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L9 世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I Revised WORKBOOK	○	○	○		○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	6
	Lesson 10 【知識及び技能】 英文を読んで大意を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 要約や自分の意見などをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに積極的に参加する。	L10 デザイナー、アーティストの篠原ともえさんと彼女がデザインしたエゾ鹿革の着物についての雑誌記事 また、他に ・英語の授業の受け方 ・英和辞典の使い方 を指導する。 また、副教材として、 ・Power On Communication　I	○	○	○		○	【知識及び技能】 定期考査、教科書付属問題など 【思考力、判断力、表現力等】 ライティング課題、パフォーマンス活動、振り返りシート、音読課題、音読テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 一人１台端末を用いた単語テスト（タンゴ	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用）教科　外国語（英語）　科目　論理・表現Ⅰ

教　科：　外国語（英語）　　科　目：　論理・表現Ⅰ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　1 組 ～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 三省堂　MY WAY Logic and Expression I New Edition （論I 015-902）　　）
教科　外国語（英語）　の目標：
【知識及び技能】　外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションを図るための知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】　外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションを図れる思考力、判断力、表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　外国語によるコミュニケーションを聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的・積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。
科目　論理・表現Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、 これらの知識を知っている。【技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に着けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に着けようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	や話	発話	書	評価規準	知	思	配当時数
1学期	Lesson 1 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L1 Let’s Talk about Ourselves における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	7
	定期考査		○	○			○		○	○	1
	Lesson 2 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L2 School LIfe における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○		○	○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	12
	定期考査		○	○			○		○	○	1
2学期	Lesson 3 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L3 The Arts における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	9
	Lesson 4 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L4 Food and Culture における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○	1
	Lesson 5 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L5 Welcome to OurTown における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○		○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	16
	Lesson 6	L6 Traveling Abroad	○	○	○	○	○	【知識及び技能】	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○	1
3学期	Lesson 7 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L7 Sports における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○		○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	13
	Lesson 8 【知識及び技能】 文法の用法や決まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を解いたり、発表原稿を書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に取り組んだり、小テ	L8 EverydayTechnology における会話活動、リスニング活動、ライティング活動、授業内発表などを指導する。 また副教材として、 ・MY WAY English Logic and	○	○	○		○	【知識及び技能】 定期考査、小テストなど 【思考力、判断力、表現力等】 英作文課題、パフォーマンス活動など 【主体的に学習に取り組む態度】 発表、提出物、授業時の関心・意欲・態度 上記を総合的に考慮して評価する。	○	○	13
	定期考査		○	○			○		○	○	1
										合計	
											90

年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　情報　科目　情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　1 学年　 1 組～　 6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 東京書籍『新編　情報Ⅰ』（情Ⅰ002-901）　　）
教科　情報　　の目標：　問題の発見・解決に向け、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成
【知　識　及　び　技　能】科目「情報Ⅰ」と同様
【思考力、判断力、表現力等】科目「情報Ⅰ」と同様
【学びに向かう力、人間性等】科目「情報Ⅰ」と同様
科目　情報Ⅰ　　の目標：　問題の発見・解決に向け、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術の問題の発見・解決に活用する	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題	情報社会との関わりについて考えながら、問題の

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○オリエンテーション ○ＰＣの基本的な操作法 【知識及び技能】 ・教科のねらいを理解する ・ＰＣの操作法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的とする状態を実現するためにどのようにＰＣを操作をしたらよいのか、判断できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・ＰＣのしくみやその操作法に関心を持ち、自ら学んでいくことができる。	・自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識・技能】 ・入力やファイル操作など、ＰＣの基本的な操作方法を、正しく行うことができた 【思考・判断・表現】 ・学習を生かして、課題等を完成させるための工夫をすることができた 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関心を持って課題に取り組む、わからないことを調べる、などの積極的な姿勢が見られた	○	○	○	14
	○メディアと情報デザイン 【知識及び技能】 ・情報をわかりやすく伝達するための表現の工夫を理解している ・ポスターやスライドなどのコンテンツをコンピュータで作成することができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・どうすれば相手に伝わりやすいデザインになるのかについて考える ・情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができる ・適切かつ効果的なコンテンツを目指して工夫できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・説得力のあるコンテンツにするために、改良を重ねようとする	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識及び技能】 ・情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など、基本的な方法を理解した ・コンピュータを用いてコンテンツを作成することができた 【思考力、判断力、表現力等】 ・意味が伝わりにくい例などをもとに、相手に伝わるメカニズムについて考えることができる。 ・情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができた ・適切かつ効果的なコンテンツになるよう工夫した 【学びに向かう力、人間性等】 説得力のあるコンテンツにするために、改良を重ねた	○	○	○	11
2学期	○インターネットとコミュニケーション 【知識及び技能】 ・偽情報や情報の歪みなど情報の特質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・偽情報の問題や人間の認知によって生じる歪みについて問題意識を持つ 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報化の進展に伴う社会の変化や注意点について考え、自らの生活に反映させる	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識及び技能】 ・偽情報の問題や人間の認知の特徴について理解した 【思考力、判断力、表現力等】 ・偽情報の問題や人間の認知によって生じる歪みについて問題意識を持った 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報化の進展に伴う社会の変化や注意点について、調べたり話し合いに参加したりした	○	○	○	12
	○コンピュータを活用した問題解決とその方法 【知識及び技能】 ・表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができる ・表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができる ・グラフの種類や機能を理解し、データをグラフ化することができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集できる ・問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のための諸手法に関心を持ち、試行錯誤しようとする	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識及び技能】 ・表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができた ・表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができた ・グラフの種類や機能を理解し、データをグラフ化することができた 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集できた ・問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができた 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のため、表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持った。また、試行錯誤を繰り返しデータ分析を粘り強く行うことができた	○	○	○	18
	○WEBページとプログラミング 【知識及び技能】 ・HTML言語を理解し、簡単な記述ができる ・JavaScriptを用いて動きのあるページを作成できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率的なプログラムを作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考え、試行錯誤しようとする	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識及び技能】 ・HTMLを用いた記述ができる ・JavaScriptを用いたプログラミングの記述を書き換え、動きを変化させることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・効率性を考慮したプログラムを作成することができた 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができた	○	○	○	8

3学期	○システムとデジタル化 【知識及び技能】 ・コンピュータのデータを処理する仕組みについて理解している ・デジタルの概念やそのための実装を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンピュータの計算の仕組みについて説明することができる ・目的に応じた機器やデジタル形式の選択ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・コンピュータへの理解が深まり、コンピュータをその原理から考えることができる	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（ＰＣ教室）使用	【知識及び技能】 ・コンピュータのデータを処理する仕組みを理解した ・デジタルの概念やそのための実装を理解した 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンピュータの計算の仕組みについて説明することができた ・目的に応じた機器やデジタル形式の選択ができた 【学びに向かう力、人間性等】 ・わからないことを積極的に調べ、コンピュータの原理に関心を持つことができた	○	○	○	7
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目

教　科：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位
対象学年組：第　1 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』改訂版 ）
教科　総合的な探究の時間　　の目標：　横断的・探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題
【 知 識 及 び 技 能 】　課題の発見と必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している
【思考力、判断力、表現力等】　自分で課題を見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析し、自らまとめ表現している
【学びに向かう力、人間性等】　主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとしている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分のことを知り、よりよい自分を形成する，自分とむきあう力を身につける。 ①探究課題に関する知識を身につける②探究で得た技能を日常生活の様々な場面において活用させる③探究の意義を理解させる	他者との関わりの中で、人を認め協力し合える、人とむきあう力を身につける。 ①適切に課題を設定させる ②目的に応じて手段を選択し，情報を収集する力を育てる③視点を定めて多様な情報を分析する力を育てる	課題を見つけ、解決へ導こうとする。 ①探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合う態度を育てる②自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働しようとする意欲を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生徒がみずからの基礎学力を客観的に把握し、その向上に計画的に取り組む。	・ベネッセのスタディーサポートを利用し、基礎学力の診断と進路希望及び学習習慣の調査を行う。 ・調査結果をもとに、自己の学力状況と進路希望に向けた課題を分析し理解する。 ・進路実現に向けた必要な取り組みの設計をする	【知識・技能】 学力テスト 【思考・判断・表現】 自己の学習状況とその成果を振り返り、課題を発見し、今後の学習計画を立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来設計に意欲を持ち、積極的に取り組む。	○	○	○	6
	探究活動についての理解を深める	・ガイダンスや千葉商科大学訪問を通して、探究の進め方を学ぶ。 ・テーマ設定に向けて、社会的課題への理解を深める。 ・上級学校訪問を行い、自己の進路との結びつきのあるテーマを検討する。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・調べ学習を通して社会的課題について理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・上級学校訪問に積極的に参加する。	○	○	○	8
2学期	課題を設定し、グループワークに取り組む	・夏期休業中にオープンキャンパスに参加して、自己の進路への考えを深める。 ・大学生の発表を見学し、効果的なプレゼンテーションについて考える。 ・研究結果を相互に発表し問題点を洗い出す。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・体験を通して発表方法に工夫を施す 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークに積極的に参加する。	○	○	○	7
	課題に対する研究を深める 成果物の作成をはじめる	・研究結果を相互に発表し問題点を洗い出す②。 ・テーマ内で仮設を立て、相互に発表する。 ・仮設について大学生、教授へのインタビューを実施する。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・様々なコミュニケーションスキルを実践し、グループでの活動に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・あらたな仮設に関心を持ち、研究に積極的に参加する。				6
3学期	成果物を完成する 発表会を実施する	・インタビュー内容を反映した発表物、成果物をまとめる。 ・同一テーマ内発表、他校を交えての発表を行う。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・仮設に対する論理的な結論を導く。 ・効果的な発表を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成果物作成、発表をする側、聴く側において、積極的に関わりを持つ。	○	○	○	8 合計 35